

第17回

定期演奏会

山田原男

声合囀園



1988.7.9(土)PM6:30開演

小田原市民会館



皆様、よろこそおいで下さいました

小田原男声合唱団

代表者 日下部 陽

昨年は例外的に11月の水曜日の夜、客演指揮者に黒岩英臣先生をお招きして開催しましたが、今年は従来どおり7月はじめの土曜日の夜という慣習の中に戻り得ました。暑く、雨の多い季節なのに、遠方からもたくさんおいで戴き、いつもながら有難いことと心からの感謝を禁じ得ません。

昨年8月からわが団にお迎えした渡辺決己先生による第1回目の定演でしたが、すでに今年5月の日本男声合唱協会(JAMCA)や6月の湘南合唱祭への出演を経験し、合宿練習によっても指揮者と団員との呼吸はかなり熟してきておりますので、きつと皆様と共に過ごす時間と空間は楽しいものになるかと期待しております。

特に今夜は決己さんの楽しい仲間ともいえるオーケストラが、友情の溢れる伴奏を下さる上に、決己さんの手でオケ半の編曲が書かれていまして、指揮者もまた、合唱団員をしのぐ勢いで、皆様に喜んで戴こうと情熱を燃やしております。どうか心おきなくお楽しみ下さつて、また御高評を賜りますようお願い申し上げます。

今夜のプログラムの内容は、かなり前衛的な曲から懐古的なものまで多彩に並んでいますが、言ってしまうと男の声の可能性とはどこまで拡張され、それが音楽の中でのように活かされるだろうか、ということでもあると考えると、歌う者にはその種の楽しみと喜びを感じないわけにはまいりません。一が、お聴きになる皆様はいかがでしょうか。私共が作曲者の心と工夫を正しく皆様にお伝えできればよいが、と祈念しています。では、どうぞ楽しいひとときをお過ごし下さいますように。

プログラム

1. 合唱のためのコンポジション6番

間宮芳生：作曲

- I.
- II.
- III.

2. うつむく青年

- I. 聞こえるか
- II. うつむく青年
- III. 見る
- IV. 平和

谷川俊太郎：作詞
大 中 恩：作曲

ピアノ：青木雅也

3. 小田男・ポピュラーソング集

- I. 森の歌ごえ アメリカ学生歌 福永陽一郎：編曲
- II. 夏は来ぬ 小山 作之助：作曲 〃 : 編曲
- III. アニローリー イギリス民謡 エマーソン：編曲
- IV. ふるさと オナーテイン：作曲 オリオンコール：編曲
- V. いざ起て戦人よ グラナハム：作曲

4. オペラ合唱曲集

- I. 僧侶の合唱 「魔笛」第2幕 モーツァルト：作曲
 - II. 囚人の合唱 「フィデリオ」第1幕 ベートーヴェン：作曲
 - III. 水夫の合唱 「さまよえるオランダ人」第3幕
ワグナー：作曲
 - IV. 巡礼の合唱 「タンホイザー」第3幕 ワグナー：作曲
 - V. 兵士の合唱 「ファウスト」第4幕 グノー：作曲
- オーケストラ：KMGフィルハーモニックオーケストラ

●指揮 渡邊 決己

幼時よりヴァイオリンを三浦二郎、鷺見三郎、日比野愛次各氏に師事し、小学四年生で東北地区器楽コンクール入賞。ピアノを田村宏、清水玲子各氏に、桐朋学園音楽科指揮聴講クラスにて、故斎藤秀雄氏に指揮法を、国立音大夏期講習等で作曲を島岡譲、中村太郎各氏に、東京芸大にて、三石精一、金子登各氏に指揮を、管弦楽法を佐藤真氏に、声楽を伊藤亘行氏に師事、芸大卒業後、財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団に所属し、ボニー・ジャックス等と神奈川県民ホールでデビューするかわら、NHK交響楽団で指揮研究を行い、葦崎での音楽教室でN響を振る、又、東京室内歌劇場主催の数々のオペラの指揮を行い好評を博す。また、指揮のかたわら坂東玉三郎・真田広之の指導や、「シックス・コーナーズ」バンドリーダー、KMG音楽事務所主催と多方面に活躍、尚昭和61年度より、藤沢市社会教育委員として藤沢市の文化に参画している。小田男とは、昨年8月以来のおつきあいである。

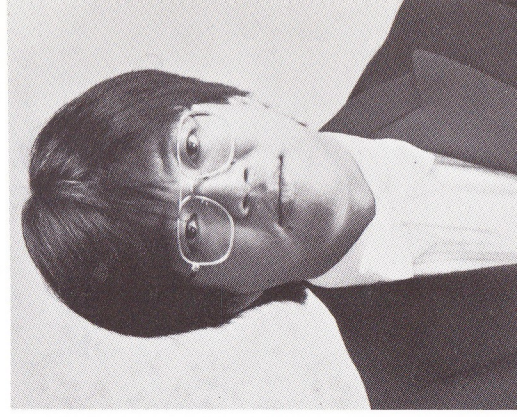


●ピアノ 青木 雅也

桐朋学園大学ピアノ科卒業。その後2年間、研究生として同大指揮科に学ぶ。その間、ピアノを兼松雅子、鶴園紫磯子、指揮を紙谷一衛他に師事。伴奏ピアノニストとして数多くの演奏家、演奏団体と協演の他、作、編曲、指揮等、幅広く活躍している。

本年12月には、横浜博の一環として、神奈川区の委嘱により、オペラ「うらしま」を自作自演の予定。

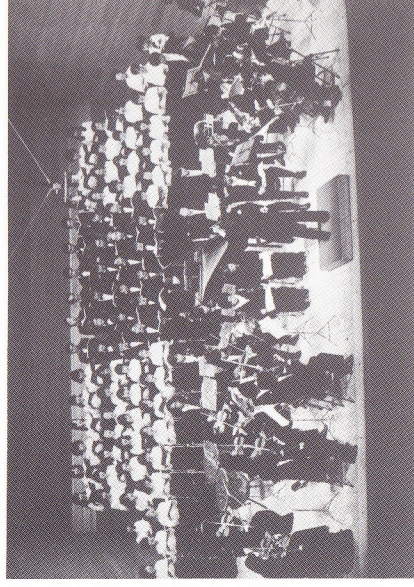
小田男とは、昭和55年以来のおつきあい。



●オーケストラ KMGフィルハーモニーモックオーケストラ

1987年5月に辻堂の明治市民センターを中心に、各アマチュア・オーケストラの若手メンバー及び、トップメンバーを集め発足。1987年11月8日(日)に静岡オペラ協会主催の第21回定期公演にて、カヴァレリア・ルスティカーナ、道化師の伴奏をとめる。常任指揮者に渡辺決己氏を置き、1988年6月には大庭少年少女合唱団と協演。1989年には、県民ホールにて第1回の定期演奏会を予定している。尚、意欲のあるアマチュアを募集しています。

☎0467(31)2808 広木まで。



曲目解説

※合唱のためのコンポジション第6番

日本には、合唱の伝統がないといわれるが、はたしてそうだろうか。なるほど、ヨーロッパ的な意味での、ポリフォニーや声機能をもった合唱音楽の伝統はなかったかもしれない。(奄美大島や、徳之島の芸能の中には、不完全で、無意識的で、偶然そうなったと思われるものだが、多声のコーラスが見られる) 2人以上の人間が一緒にうたうこと、それを合唱だとすれば、集団が、集団的なある目的や、共同意識によってうたう、例えば、労働のうたや、民間信仰に根ざした芸能のうたなどの多くは、合唱と呼ぶべきだし、それこそが、日本での合唱の伝統がつくられてゆけたいための一つの重要な基礎となるべきだ。それはまず、ユニゾンであり、「第二番」でも、この考えは、明確に示されていると思う。そして「第六番」は、その基本的な姿勢から出て、民族的なポリフォニーの様式をさぐって見るといって課題へ向かうことになったように思う。

「第六番」は、「第三番」を、しばしば演奏して、民族的な合唱への積極的な姿勢を示して来た、法政大学アリオン・コールからの委嘱で、1968年4月に完成、5月26日に、田中信昭さんの指揮でアリオン・コールにより初演された。

第1楽章は、岩手の稗島唄を土台にしている。前記のべた、民族的なポリフォニーが可能であろうか。ぼくの答えはこれから出されるだろうが、この楽章はそれの第一の着手である。

第2楽章は、10年来熱愛している、青森県八戸の神楽のうちの権現舞のうたによった、プレストの楽章で、阿波踊りと同型のリズムである。

第3楽章には、二つの部分があり、前半は、兵庫県亀岡神社の芸能を素材としている。声明のようで、のりとのようで、そして和讃のようでもある。各声部間にかけて合いのようにはあられる、ゆったりしたポルタメントに特徴がある。この部分

だけ、拍子木がつかわれている。後半は、大分県の大漁鱈子による、男性的で勇壮な、かけ声だけの部分。経過部分には、東京都下の木場の労働のかけ声が配された。

レコード解説文より (間宮芳生)

※うつつむく青年

“うつつむく青年”は1977年、広島の実野守正氏を通じて、崇徳高校グループ、広島大学グループ、広島メンネルコールの合同演奏会のために委嘱を受け、作曲したものです。詩を見つめるのに大変苦労しましたが、谷川俊太郎氏の詩集にめぐり逢えたことは本当にしあわせなことでした。谷川氏の詩はこれまでに何回となく目をとおしていましたが、いくつかのこどものうたを作曲したことはあっても、歌曲や合唱曲にしようと思つたことはありませんでした。ふと「うつつむく青年」という詩集をみつめ、「男」のにおいを強烈に受け、絶対男声合唱だ、と感じ、一気に書きあげました。男の声のたくましさとかまやかさの、表現の幅を一層厚くするばかりでなく、ピアノは独自で語り、声とかがわり合っている重要な部分です。

作曲したい詩は沢山あったのですが、えらんで「聞こえるか」うつつむく青年「見る」平和」の四つによる組曲としました。“うつつむく青年”という組曲の題名は、前述のように、同名の詩集にのせられていたことから、そのままつけたものです。この曲の初演は1977年6月13日、前記三合唱団、ピアノ・新宅雅和氏、私自身の指揮で行われました。

次第に意気を盛り返しつつあるわが国男声合唱団の、新しいレパートリーに加えられるれば、一と願ひ、且つ信ずるものです。

楽譜前文より 1978年 秋 (大中 恩)



お食事とコーヒー 送亭

お堀端通り

小田原市栄町1-13-31

TEL 23-3631

うつむく青年

谷川 俊太郎

I. 聞こえるか

黙ってみないか

ちよつとでいいから

黙ってみないか

新聞もラジオも君も

(そして詩人も)

君にはしじまが聞こえるか

たそがれ時に恋人たちの間にひそむ

ふと君を見たりやさしい鹿の眼の中にある

そうしていつも空がひそかにかくしている

しじまが君に聞こえるだろうか

そつと

しじまをつんぽにしないほかにそつと

君はお早ようとお休みが云えるか

II. うつむく青年

うつむいて

うつむくことで

君は私に問いかける

私が何に命を賭けているかを

よれよれのレインコートと

ポケットからはみ出したカレーパンと

まっすぐな矢のような魂と

それしか持っていない者の烈しさで

それが持とうとしない者の気軽さで

うつむいて

うつむくことで

君は自分を主張する

君が何に命を賭けているかを

そる必要もないまばらな不精ひげと

子どものように細く汚れた首すじと

鉛よりも重い現在と

そんな形に自分で自分を追いつめて

そんな夢に自分で自分を組織して

うつむけば

うつむくことで

君は私に否という

否という君の言葉は聞こえないが

否という君の存在は私に見える

うつむいて

うつむくことで

君は生へと一歩踏み出す

初夏の陽はけやきの老樹に射していて

初夏の陽は君の頬にも射っていて

君はそれには否とはいわない

III. 見る

見る

もつとも小さいものを見る

飛び去る電子を見る

だが無を見ることはできない

もうすぐ20年、
がんばって下さい。

東京田辺製薬株式会社

田辺製薬株式会社

三共株式会社

三笠製薬株式会社

興和新薬株式会社

見る
もつとも巨きいものを見る
彼方の渦状星雲を見る
だが無限を見ることはできない

けれど見る
人は見る
見ようとすると
目に見えぬものすら

見る
野に一輪の花を見る
空に昇りゆくロケットを見る
同じひとつの光のもと

見る
見なれた妻の顔に
殺された兵士の写真に
刻印されたあのれを見る

IV. 平和

平和
それは空気のように
あたりまえなものだ
それを願う必要はない
ただそれを呼吸していればいい

平和
それは今日のように

退屈なものだ
それを歌う必要はない
ただそれに耐えればいい
平和
それは散文のように
素気ないものだ
それを祈ることはできない
祈るべき神がいらないから

平和
それは花ではなく
花を育てる土
平和
それは歌ではなく
生きた唇

平和
それは旗ではなく
汚れた下着
平和
それは絵ではなく
古い額縁

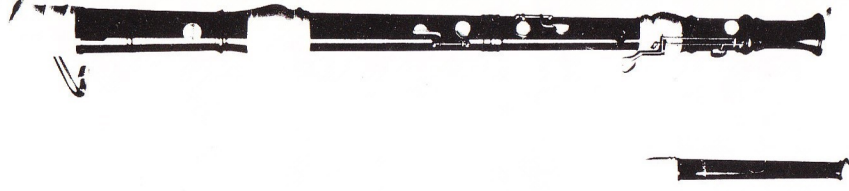
平和を踏んずけ
平和を使いこなし
手に入れねばならぬ希望がある
平和と戦い

平和にうち勝つて
手に入れねばならぬ喜びがある

サンリオ出版刊 詩集「うつむく青年」より

ALLOS[®]

from グライネ
to バス. アウロス。



シノフォニー No. 5015 シノフォニー No. 513

アウロスが誇る超精密技術の象徴。

格調高いV字の溝の深みはサイエンス。

素材に込められた情熱がゴライオウ。

世界一頑丈なV字。絶頂の名譽。

東京33.000川 東豊橋町29.000川 1.5.4.4.8. 1.5.4.4.8. 1.5.4.4.8. 1.5.4.4.8.

1.5.4.4.8. 1.5.4.4.8. 1.5.4.4.8. 1.5.4.4.8. 1.5.4.4.8. 1.5.4.4.8. 1.5.4.4.8. 1.5.4.4.8.

1.5.4.4.8. 1.5.4.4.8. 1.5.4.4.8. 1.5.4.4.8. 1.5.4.4.8. 1.5.4.4.8. 1.5.4.4.8. 1.5.4.4.8.

1.5.4.4.8. 1.5.4.4.8. 1.5.4.4.8. 1.5.4.4.8. 1.5.4.4.8. 1.5.4.4.8. 1.5.4.4.8. 1.5.4.4.8.

1.5.4.4.8. 1.5.4.4.8. 1.5.4.4.8. 1.5.4.4.8. 1.5.4.4.8. 1.5.4.4.8. 1.5.4.4.8. 1.5.4.4.8.

トヤマ楽器製造株式会社

東京本社 千174 東京都板橋区大原8114

大阪営業所 千541 大阪市東区北久宝寺町2.50

本町和光ビル 千506 264 7151PC

**「ガンバル
オダダン!!」
期待しています。**

**サール薬品株式会社
協和発酵工業株式会社
モハン薬品工業株式会社
武田薬品工業株式会社
中北薬品株式会社平塚営業所**

1. 森の歌声

三 沢 郷：作詞
アマリカ学生歌
福 永 陽一郎：編曲

「エール大学」の学生歌。以前、「東京コラリアーズ」がテーマソングとして使用していた。毎回小田男の定演においてになっている方は、今日のステージの開幕で歌われなかったのを不思議に感じられたと思います。今回は、演出の関係で歌いませんでした。小田男のテーマソングとしての地位は変わりません。

2. 夏はきぬ

佐々木 信 綱：作詞
小山 作之助：作曲
福 永 陽一郎：編曲

作詞者佐々木信綱は、三重県生まれの国文学者・歌人。正岡子規に先んじて明治和歌革新の実践にあたる。作曲者小山作之助は、新潟生まれ、東京音楽学校の教鞭をとるがたわら多くの唱歌曲を作曲。「夏はきぬ」は、明治29年5月出版の「新編教育唱歌集（五）」所収。

3. アニーローリー

山口 隆 俊：作詞
イギリス民謡
エマーソン：編曲

日本語名は、「白百合」。詞は以下の通り。
露の玉しく池のほとり／咲ける白百合／君の誓い
逝きし君の心の花／姿も忘れじ百合の姿
逝きし君を忘れて咲くらし森のほとり
雪にもまごうかその面差し／暮れ行く森にも
ああ似たるか／見よ／澄みわたりし空のごとき
空にも似通うその眼差しこそ／百合の姿
波と碎け散る／君はいまされど／木の間に流るる
そよ風のごと／その言葉の静かに残る
逝ける君や／今花の匂いが

4. ふるさと

作 詞 者 不 明
オナーテイン：作曲
オリオンコール：編曲

「ふるさと」というとつい「兔追いし…」とくちずさみたくありませんが、この詞には、落ちぶれてふるさとを去ることになった去りがたい心境が歌われています。

5. いざ起て戦人よ

藤 井 泰一郎：作詞
グラナハム：作曲

大変勇ましい歌で、コンパの席では必ずといっていいほど歌われます。いわば小田男の「宴会」用テーマソングとでもいうべきものでしょう。

今回のオペラ合唱曲は、オペラの中で登場する男声合唱の中でも特に有名な曲ばかりである。

1. 僧侶の合唱

歌劇「魔笛」の第2幕で、イシスとオシリスの神につかえる僧侶たちによって、ひとつの試練を乗り越えたことを讃え、さらに来る試練に向かう者たちを励ましてうたわれる。

2. 囚人の合唱

歌劇「フィデリオ」の第1幕の後半で、久しぶりに監獄から庭に出された囚人達が、「おお、なんと自由のうれしさ……」と、太陽の光と新鮮な空気に触れ、束の間の感動をうたったものである。

3. 水夫の合唱

歌劇「さまよえるオランダ人」の第3幕。ノルウエー船の水夫たちによって飲めや歌えの大騒ぎを陽気にうたわれるのが「水夫の合唱」である。

4. 巡礼の合唱

歌劇「タンホイザー」の第3幕の前半で、通るかかる老いた巡礼者たちが、疲れは見えても帰ることを許された喜び満ちた思いを「故郷よ、喜び持て我は汝を見る……」とうたわれる。

5. 兵士の合唱

歌劇「ファウスト」の第4幕。
古き歴史の国、尊き国の誇り
我ら兵ども、誇りある歴史汚さじと、
その祖国に捧げし身、
この命を国のため、この命を国のため
省みることもなく、捧げたり
古き歴史の国、
ああこの日、再び故郷に帰りにて
家族と共に生きてゆく喜び
ああこの日、再び故郷に帰りにて
愛する人々の待つ家に再び帰りにて
喜び分たん……

青 木 爽：訳詞

■1987～1990 小田男カレンダ－（予定含）

年月日	演奏会名等	会場	指揮
87.11.4	第16回定期演奏会	小田原市民会館	黒岩英臣
87.11.15	森と湖のコンサート	津久井町中野小学校	渡辺 決 己 田 中 二 嘉
87.12.19	神奈川フィル足柄第9演奏会	松田町民文化センター	飯守 泰次郎
88.5.29	第9回JAMCA東京	日本青年館	渡 辺 決 己 荒 谷 俊 治
88.6.5	湘南合唱祭	藤沢市民会館	渡 辺 決 己
88.6.18・19	夏期合宿 民宿やまぼうし 箱根町社会教育センター		
88.7.9	第17回定期演奏会	小田原市民会館	渡 辺 決 己
88.10.16	小田原市民合唱祭	小田原市民会館	
88.11.19	ブラームス“ドイツレクイエム”演奏会	小田原市民会館	
89.3.11	西湘音楽フェスティバル	小田原市民会館	
89.7.15	第18回定期演奏会	小田原市民会館	
90.2.	第10回JAMCA小田原	小田原市民会館	

■1987～1988 演奏曲目

作曲者	曲名	作曲者	曲名
1. トーマス・タリス	エレミアの哀歌	14. 清水 脩	智恵子抄巻末のうた六首
2. シューベルト	現在の中の過去	15. 間 宮 芳 生	合唱のためのコンポジション6番
3. シューベルト	月光	16. モーツァルト	「魔笛」より僧侶の合唱
4. シューベルト	憧れ	17. ベートーヴェン	「フィデリオ」より囚人の合唱
5. 清水 脩	大手拓次の三つの詞	18. ワーグナー	「さまよえるオランダ人」より水夫の合唱
6. 多田 武彦	柳河	19. ワーグナー	「タンホイザー」より巡礼の合唱
7. 山田 耕作	この道	20. グ ノ ー	「ファウスト」より兵士の合唱
8. 山田 耕作	からたちの花	21. エール大學生会歌	森の歌ごえ
9. 山田 耕作	あわて床屋	22. 小山作之助	夏は来ぬ
10. 山田 耕作	帰ろ 帰ろ	23. イギリス民謡	アニーローリー
11. 近衛 秀麿	ちんちんちどり	24. オナーテイン	ふるさと
12. ウェーバー	狩人の合唱	25. グラナハム	いざ起て戦人よ
13. ヨハン・シュトラウス	酒女歌		

メンバー・アラカルト

T₁(トップ・テノール)

- | 氏名 | 勤務先 |
|------|--|
| 大塚正夫 | (大磯小学校) …… ●大磯小教頭他最近超多忙。 |
| 吉田晃 | (東洋鍼灸) …… ●ファンが多くて演奏会の後はいつも大変。 |
| 斎藤恵司 | (緑台小学校) …… ●JAMCAを地元厚木でと、イベント屋先生。 |
| 福島修 | (富士ファイルム) …… ●最近飲み会のつき合いが悪いよ。 |
| 日置達男 | (富士ファイルム) …… ●“練習に出て来い”と檄をとばすのが仕事。 |
| 加藤元 | (茅ヶ崎西浜高校) …… ●通称パイさん。本当はタカシと読みます。 |
| 中島弘光 | (和泉短大) …… ●「発声には断食がいい」と大学の音楽の先生。 |
| 杉本健二 | (小田原市役所) …… ●「マネーじならまかせなさい」と定演実行委員長。 |
| 北岡一夫 | (旭化成マイクロシステムズ) ●箱根台宿には厚木から自転車 came 来た元気な若手ホープ。 |



T₂(セカンド・テノール)

- | 氏名 | 勤務先 |
|------|--|
| 青野正純 | (富士ファイルム) …… ●品質管理の権威。オダダンの品質も上げてほしい。 |
| 福井靖史 | (大磯小学校) …… ●セカンドの抜けてならぬは福井と毛。 |
| 藤本慎治 | (日本インター) …… ●“先生、オレここがわからないんだけど”と研究熱心。 |
| 氏家慶明 | (松田小学校) …… ●演奏会後の口ビエで一番人気のある人……子供に。 |
| 北島道治 | (関西ポイント) …… ●パパさん合唱も家庭も大事。 |
| 鈴木幸三 | (相洋中学校) …… ●梅雨の晴間になると、練習を休んでキューワイの手入れ。 |
| 鈴木昌弘 | (山石原中学校) …… ●理科の先生が好きなのは歌と星、貴重な独身。 |
| 佐藤精孝 | (関西ポイント) …… ●音に厳格。取りたてはム。 |
| 金子貴樹 | (相洋高校学生) …… ●JAMCA東京での七色の拍子木で有名。 |
| 高橋潔 | (平塚市役所) …… ●“もう酒はやめましたよ”が口癖のヨットマン。 |
| 平山諭 | (麻溝台中学校) …… ●南足柄から相模原に通っている先生。 |
| 青野幸夫 | (茨沢小学校) …… ●演奏会の企画をして客席で録音している人。 |

B₁ (バリトン)

- | 氏名 | 勤務先 |
|------|--|
| 足利裕之 | (小嵐中学校) …………… ● 落語の好きな国語の先生。 |
| 柏木秀茂 | (松田中学校) …………… ● 飲まないわりには得意なのはフェルマータとテンポルバート。 |
| 下村興毅 | (下村商店) …………… ● 飲み会の後始末が得意。 |
| 松本和夫 | (松田中学校) …………… ● 小田男の技術部を背負っている。御苦労様。 |
| 中島広志 | (顧問ドクター) …………… ● オダダンにはビールが万病の薬だと整形外科医。 |
| 広田守邦 | (マイコトキシン検査協会) …………… ● 15年誌の記録マン。 |
| 山崎幸興 | (西湘地区教職員組合) …………… ● ブラバンの先生も専従職多忙で出てこない。 |
| 佐藤充 | (三島南高校学生) …………… ● 高校生。団員一同決してお酒を勤めております。 |
| 小林隆一 | (富士機器工業) …………… ● 昨年暮入団。練習参加3回で皆勤賞獲得。 |



B₂ (バス)

- | 氏名 | 勤務先 |
|------|---|
| 井上忠彦 | (井上楽器) …………… ● 割り箸で“いざたて”を指揮するのが得意。 |
| 坂口宗夫 | (富士フィルム) …………… ● リラックスがさまになるベースマン。 |
| 渡辺誠之 | (千代中学校) …………… ● ケン玉をあやつる、通称“バズーカ砲”。 |
| 下沢孝 | (富士フィルム) …………… ● ステージ好きも最近はてんてこまい。“てんてこない”。 |
| 日下部陽 | (中原中央診療所医師) …………… ● 「ドクタードライブ」歌と酒、編曲も得意。 |
| 中山博之 | (関西ペイント) …………… ● “歌った方が研究がすすむはず”博士殿。 |
| 江藤凱夫 | (富士ゼロックス) …………… ● 譜面にラケット、両手に花。 |
| 山神秀人 | (神奈川県工芸指導所) …………… ● パワーの発声。汗も倍。 |
| 湯川裕光 | (滝沢工務店) …………… ● 阿でもマメな男もいよいよアセリの年。 |
| 矢島隆司 | (久野小学校) …………… ● いい声も出そうででないと……。 |
| 赤川軍一 | (第一生命厚生サービス) …………… ● 学生時代の男声合唱を思い出し突然入団。 |

- 青木雅也 …………… ● 花の独身も話が中年ぼくになってきた。
- 渡邊決己 …………… ● ドイツレクワイエムの翌日は2ビートを歌うマルチ音楽家。

小田原男声合唱団小史

1971年11月、小田原市およびその近在の男声合唱愛好者40名によって発足した。創立以来15年間、福永陽一郎先生の献身的な指導を得る。

創立の翌年5月、第1回定期演奏会を開催。9月の合唱コンクール県大会で県知事賞を受賞。11月の関東コンクールでは金賞を獲得。1973年には全国大会で銅賞を受賞し、広く全国にその存在を知られるようになった。1975年に東芝コーポに多田武彦の「雨」を、1982年には池辺晋一郎の「冬におかって」を湘南コーレグリュン、藤沢男声とともにレコーディングした。毎年定期演奏会をはじめ、地域の合唱祭への参加、「第9」・「メサイヤ」への賛助出演、JAMCA（日本男声合唱協会）の仲間である東京リーダーターフェル・東海メールクワイヤーなどとラジオイントロコンサートなど、活発に活動を続けている。

男のロマンを歌いませんか

小田原男声合唱団団員募集中

- 練習日 毎週火曜日 19:00~21:00
- 練習会場 石綿ホール(小田原市民会館前)



お問い合わせ

小田原市栄町1-13-36 井上楽器内
小田原男声合唱団 事務局
0465(24)0515

第17回定期演奏会スタッフ

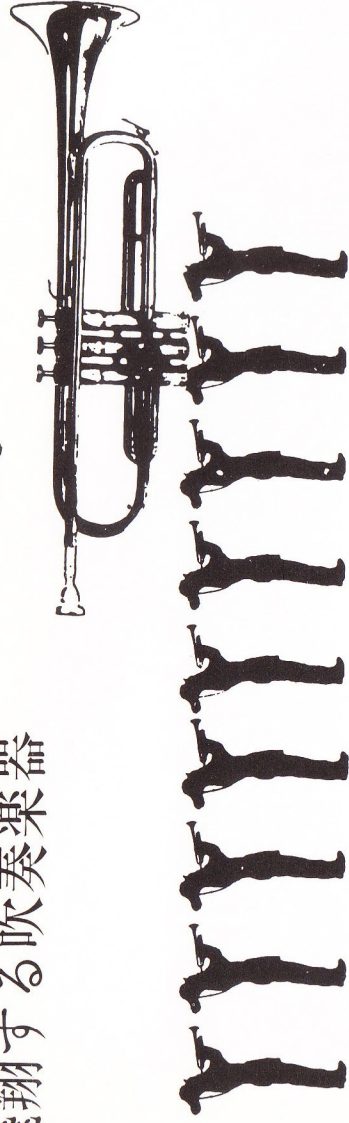
実行委員長 杉本健二 事務局 井上忠彦 会計 渡辺誠之 渉外 下村興毅 プログラム 杉本健二 日置達男 デザイン 山口美奈子 下村興毅 技術 松本和夫

小田原男声合唱団スタッフ

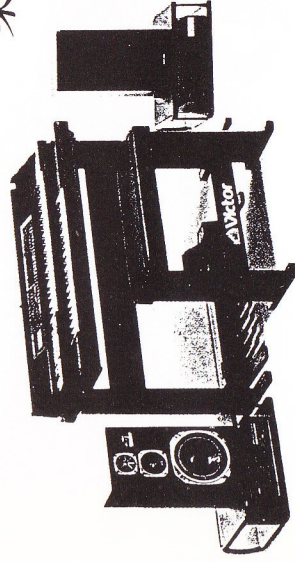
指揮者 渡辺決巳 副指揮者 松本和夫 大塚正夫 柏木秀茂 団長 日下部 陽 副団長・技術部長 松本和夫 副団長・財政部長 佐藤精孝 副団長・団員部長 日置達男 事務局長 井上忠彦 事業部長 杉本健二 渉外部長 下村興毅 備品部長 北畠道治 情報部長 鈴木幸三 監査 足利裕之・坂口宗夫
休団者 近藤国男 石橋泰三 井筒 稔 小野 豊 加藤和義 坪井孝士 二宮治二 小沢 一 奥津光隆 鉅鹿明弘 伊東清邦 古沢 憲 秋野三郎 福野雅典

飛翔する吹奏楽器

YAMAHA・Nikkan



楽しく弾ける、やさしく弾ける



電子オルガン ビクトロロジ

NS-5 SYSTEM B

- 本体 NS-5 ¥330,000 ●スタンド NS-S1 ¥28,000
- イス NS-S2 ¥26,000 ●照明室 NS-PI ¥61,000
- フルカブラー・オルガン音源ユニット NS-T9 ¥240,000
- アンプ/ACE3 ¥35,000 ●スピーカー・90° SP-E77 ¥20,000 X2
- スピーカー・トラック LK-6100 ¥11,500 X2



◇ 音楽と仲よしになれる、新しいカタチ、新しい音。

MELODION

M-32

株式会社 鈴木楽器製作所
 浜松市漁業町443 TEL (0534)-61-2325(代表) 千430
 鈴木楽器販売株式会社
 横浜市緑区荏田町1856-8 横浜 (045) 911-1916

アポロピア

東洋ピアノ製造株式会社



井上楽器

小田原お堀端通り
 TEL.24-0515

